

# 青少年健全育成 藤井寺市民会議

## 作文入賞者表彰



▲発表の様子

青少年健全育成藤井寺市民会議（ユースフル藤井寺）では、「私のヒーロー」をテーマに、藤井寺市立の小学6年生と中学2年生を対象に、作文の募集を実施しました。応募総数930点から選ばれた、最優秀作文と入賞者を紹介します。

**問合せ** 生涯学習課青少年教育担当  
0952・7800



### 小学生の部 最優秀賞

#### 「私のヒーロー」

藤井寺西小学校6年1組

土屋 紬

私のヒーローは、毎朝あいさつをしてくれる見守り隊の人たちです。

見守り隊の人たちは、毎朝通学路を安全に通れるように、私たちを誘導してくれます。さらに、「おはよう」「ごきげんよう」と、元気な声のあいさつもしてくれます。そのようなあいさつのおかげで、朝にねぼつして眠たい時や、元気がない時もすぐに元気になります。そして、「今日もがんばろう」と思うことができます。

私は、毎日朝早くから見守ってくれている見守り隊の人たちに感謝しています。また、毎朝のあいさつで元気にしてくれる見守り隊の人たちを元気にしたいと考えました。そのため、私も毎朝精いっぱいの声であいさつをしようと思いました。



### 中学生の部 最優秀賞

#### 「私のヒーロー」

第三中学校2年5組 北野 心結

ヒーローとは何だろう。かっこよくて優しさが溢れる人、そして尊敬できる人だ。私にとってそれは、祖父だ。祖父はイケメンである。名古屋弁と大阪弁が混合したおかしな話し方をする。普段は口下手で不器用な性格だが、好きなお酒を飲むと陽気な人に変身する。そして、どんな時も優しくいつでも私の味方だ。私は大好きで、まさしくヒーローそのものだ。だけどそんな祖父はもういない。今年の春に癌で亡くなってしまったからだ。約半年間、癌という敵と闘った。抗がん剤治療による、副作用の辛さは計り知れないのに、私の前ではいつもの元気な祖父の姿がそこにあった。その姿をみると病気が治るのではないかと勝手に信じている自分がいた。しかし、病状は急激に悪化し入院となった。限られた時間での面会が許された。ベッドに横たわる姿はやせ細り、何本もの管や器械に囲まれていた。私は辛すぎて涙がとまらなかった。祖父は自分の手も動かせない状態だったが、諦めなかった。最後まで耐えて頑張り続けた。だから私はこれ以上頑張りという言葉はかけず、学校の話、祖父が好きな私のピアノの事などたくさん話をした。すると、目を合わせて優しく

「偉いなあ。がんばってすごいなあ。」  
と、褒めてくれた。前向きに生きようとした姿はかっこよく、祖父が誇らしくみえた。

大好きなじいじの病気との闘いを通して、私の思うヒーローの分類に強さというものも加わった。大切な人が死ぬということ、生きるということの意味を身に染みて感じた。そして、人生において諦める道を選ばないことも学んだ。命があるのは当たり前ではない。まずは何事も最後までやり遂げる力をつけたい。そして人に優しい強い人間になりたい。天国で応援してくれているヒーローの孫として、恥じることはない生き様をするために。

### 優秀賞

藤井寺小学校	6年3組	佐藤 心月
藤井寺南小学校	6年3組	菊田 紗那
藤井寺西小学校	6年1組	山口 海智
藤井寺北小学校	6年1組	佐野 優芽
道明寺小学校	6年2組	角畑 結依

道明寺東小学校	6年2組	至田 滯奈
道明寺南小学校	6年2組	西川 莉彩子
藤井寺中学校	2年5組	藤井 倫子
道明寺中学校	2年4組	江野 うるる
第三中学校	2年1組	伊吹 心那

(順不同、敬称略)